

退職者 NO.118-
こだま会報



いまこそ輝け
憲法第9条



上田市にある戦没画学生慰霊美術館「無言館」の前で (関連記事8面)

今号の紙面

- ・コラム「散歩道」… ①
- ・手づくり文化祭/おすすめの1冊 …… ②
- ・歴史教室/こだま俳壇/予告 …… ②③
- ・戦争法2年/県職員九条の会平和の集い案内 …… ④
- ・全国自治体退職者会連絡会総会/役員紹介 …… ⑤
- ・神奈川自治労連退職者会総会/絵手紙/お悔み …… ⑥
- ・会員の広場/パズル/句集『天地返し』… ⑦
- ・松代大本営と無言館の旅 …… ⑧

散歩道

県には土木の仕事で入職。現在84歳。秦野に住んでいます。
 小学1年生の時に太平洋戦争が始まり、学校では農作物を作ることが主で、勉強どころではありませんでした。

軍部は嘘ばかり言っていたので、軍隊に対する反発心がありました。

昨年、秦野の生協の「日吉地下壕見学」に応募して、

初めて戦争遺跡を見学しました。これまでに3カ所を見学。その一端を紹介します。

◆日吉地下壕◆
 1944年9月から慶應義塾大学日吉キャンパスの寄宿舎が帝国海軍連合艦隊司令部になり、(司令長官以下420人で構成、終戦時には1000人近く)、前線へ指令が送られていました。

戦争遺跡を訪ねる

望月 一孝 (84)



戸研究所資料館を見学しました。
 登戸研究所は、小田急線登戸駅から生田駅の間であり、1937年、陸軍科学研究所の電波・無線関係の研究開発施設「陸軍科学研究所登戸実験場」が始まりと言われています。敷地面積は11万坪、建物100棟、幹部所員250人と一般雇員・工員など、総勢1000人にもなる大規模な研究所・秘密兵器生産工場。仕事は、スパイ活動や生物化学兵器の開発、風船爆弾や偽札の製造、電波兵器の研究などです。

◆松代大本営跡象山地下壕◆
 今年9月、「こだま会」の旅行に参加して、松代大本営の象山地下壕を見学。ここは本土決戦最後の拠点として、大本営、政府各省を移転する予定で、軍部が1944年から45年、9カ月間の突貫工事で作らせた総延長5853mの地下軍事施設群の跡です。見学できるのは、そのうちの500m。岩山をくりぬいただけで、照明も薄暗く、石ころがゴロゴロした地下坑道だったので、足元に注意して歩きました。

◆陸軍科学研究所登戸研究所◆
 今年5月、明治大学平和教室登戸号室、作戦室など一部分です。

◆陸軍科学研究所登戸研究所◆
 今年5月、明治大学平和教室登戸号室、作戦室など一部分です。

どの遺跡とも、日本の軍隊は実に無駄なことをやっていたものだと、いま、改めて感じています。

神奈川自治労連退職者会

熟年 パワー 全開!

第23回
ふれあい
手づくり
文化祭



▲フラダンスを披露する高橋和江さん



▲「青い空」などを歌う星妙子さん(左)と斉田茂子さん(右)

▲こだま会
勢ぞろい

「へえー、そんな才能があったんだ。ちっとも知らなかった」——いろいろな方の多様な一面が発見できた「第23回ふれあい手づくり文化祭」(神奈川自治労連退職者会主催)が10月28日、横浜市従会館で行われました。小雨がぱらつくなか、こだま会や横浜市従退職者会の各支部・サークルなど総勢250人余が参加し、会場はいっぱい。

当会からは手芸品、押し花、写真、絵画、書道、絵手紙、俳句、川柳、着物のリフォーム、ワイヤーアート

第64回 歴史教室 (散策) 三浦一族ゆかりの地元をゆく

昭和40年頃来たことがある横須賀線「衣笠」駅。昔のまま変わっていないと思われる駅舎。なぜか懐かしさがよみがえった。10月11日午前10時、ここに集合、15人が参加。朝から季節外れの暑さ(最高気温29度)。会長のあいさつ後、水分の補給を

して、いざ出発。賑やかで活気のある商店街を通り、バスで衣笠城址へ。地下道を通り、急な坂道を歩いて30分。早めの昼食をとり、アキレス腱を痛めないように、食後に軽く体操をする。

(3面に続く)

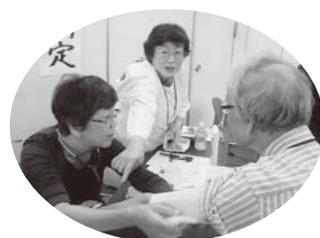


▲杉原克典さんのギターにあわせフォークソングを歌う



▲絵画や写真、俳句、手芸など力作を観る

など21作品が展示され、演芸会場では、フラダンス、カラオケ、フォークソング、ウクレレや太極拳など新しい試みも披露されて、熱気のもった発表会となりました。和裁小物やおでん、ビールの販売も花を添え、買い物や軽食を楽しみながら交流を深めました。今年には血圧・体脂肪測定コーナーが開設され、106人が測定を受けて大好評でした。(中嶋ひとみ)



▲好評だった血圧・体脂肪測定

おすすめの1冊

『スノーデン：監視社会の恐怖を語る』

小笠原みどり著

NSA(アメリカ国家安全保障局)が行った世界同時監視システム、これを内部告発したエドワード・スノーデンに著者が独占インタビューした全記録。

スノーデンは、「監視の対象は、原発反対、平和運動、労働組合、反



貧困、教科書問題、民族差別反対などのグループや集まりです」

「監視がどんな時代でも最終的に権力に抗する声を押しつぶすために使われてきた」と。

「プライバシーは個人の権利の源なのです。プライバシーがなければ表現の自由は意味をなさない。あるがままの自分ではいられない」「人権は法律によって保障されているけれど、法律から飛び出してきて僕らを守ってはくれません」と。

スノーデンは私たち一人ひとりが変化を呼び起こし、未来への希望を生み出すことへ期待している。(右)

こだま俳壇(10月)

廃校の庭に遊ぶや赤とんぼ 友井 眞言
 江ノ電の車窓横切る赤とんぼ 島海 敏雄
 赤とんぼ留学生の肩にふれ 中村 桂子
 無言館の声聞く旅や天高し 松尾佐知子
 初鳴きの遠慮がちなる鉦叩 田中 一男
 月のごと欠けても元に戻りたし 白井保次郎
 秋澄めり宝生流の笛一管 三井 光子
 温め酒相手の話まず聞いて 小川 水草
 幼子の帽子に止まる赤とんぼ 島田多嘉子
 送られし梨一人むく厨の灯 木村 武子
 ランナーと抜きつ抜かれつ赤とんぼ 瀧澤 正行
 貧しくて泣く子のいるか杜鵑草 井村 友彦
 大銀杏葉を散らかして神無月 後藤 貞夫
 人波を淡き日包む秋の街 柳瀬 節子
 新涼や使い古しの筍ひとつ 高橋 和江
 子規漱石友情篤しホトトギス 横川美代子
 砂浜の喧操消えて秋の海 本山 文字
 若ものに出郷のあり赤とんぼ 講師・太田 土男

(2面から続く)

蚊がたくさんいて、何カ所もさされた人が何人もいた。役員さんが用意した虫刺されの薬で助かった。講師の森敏晴氏(三浦一族研究会理事)の話によると、三浦一族が立てこもった衣笠城に平家方が攻めた



衣笠城の「不動井戸」の説明を聞く

のが衣笠合戦。「戦況利あらず」とみた三浦大介義明(89歳)。「老齡を頼朝に投げうち、子孫の勲功に募らんと欲す」と諭し、義澄らを闇夜に乗じて城を脱出させ、自らは翌早朝に河越重頼らに討たれた。



三浦大介公800年記念碑

城址を後に、20分ほど歩いて、横須賀で一番格式があると言われる「満昌寺」へ。急な階段をゆっくり昇り、左手に三十三羅漢像を觀ながら(羅漢像は自分の顔に似ている像が一つ位あると言われている)、本堂裏に義明を神格化した鎌倉末期作の座像(国指定重要文化財)が祀ら

れている御霊神社を見学。頼朝は義明の十七回忌に列席し、霊に「身は果てても、今日まで共に生きています」と語ったとき



衣笠城址にて

れることから、義明89歳に17を加えた106歳という数え歌が、「鶴は千年、亀は万年、三浦の大介百六つ」という祝い詞となり、広く流布した。「一族の知恵を集めて、一族を束ねた統率力がすばらしい」「このような史跡を残してくれて有難い。後世のためにも大切にしてほしい」と参加者の声。

続いて、近殿神社、清雲寺を通り、予定した15時に衣笠駅に全員無事たどり着いた。歩くこと1万3500歩。「84歳の男性もよく頑張つて歩いていられたので、私も負けずに歩きました」と女性参加者。

森講師、幹事、参加者の皆さま、お疲れさま。次回も無理をせず、行って良かったと思われるコースを考えていきたい。「こだま会報」読者の皆さんも、時間をつくつてご参加を待っています。(川田勝利)

予告!! 予告!! 予告!!

- 楽しい料理教室
とき 11月30日(木) 11時~15時
ところ フォーラム南太田(京急「南太田駅」下車徒歩2分)
会費 2000円(エプロン・タオル持参)
講師 飯塚武弘氏
内容 旬の野菜&とれたて魚料理
申込先 080-3011-8174(仲戸川)
- 俳句サークル「こだま句会」
月例会(毎月第2木曜日13時~)
とき 12月14日(木) 1月11日(木)
ところ 県庁本庁舎6階会議室
指導 太田土男先生(俳人協会)
会費 800円(投句のみ500円)
申込先 こだま会事務所045(212)3179
または井村友彦☎0463(81)4493
- 食文化を楽しむ会
恒例の「風邪に負けない薬膳料理」は、会場の西地区センターが改修工事のため、中止になりました。来年の7月末に「夏ばて防止の薬膳料理」を予定しています。
- てく・テクの会
とき 12月1日(金) 雨天中止
集合 JR新橋駅 烏森口10時集合
内容 築地周辺散策とグルメ・買物ツアー
申込先 11/28 16時まで。こだま会事務所
☎045(212)3179

9/19

反対行動のうねりは変わらぬ

「戦争法」 強行可決から2年

2015年9月19日未明、「戦争法」が強行可決。同年の9月19日の前後には反対行動の大きなうねりがあり、8月30日には市民12万人が国会を囲み、60年安保以来の高まりを見せました。

高齢者、若者、ベビーカーのお母さん、サラリーマン、車いすの方、弁護士、学者、芸能人、お坊さん、創価学会の旗など、幅ひろい層からの

参加が見られたことを思い出します。

* * *

それから2年、反対行動の大きなうねりは今も変わりません。こだま会は毎月19日に必ず10人前後が国会行動に参加し、今年の9月19日も約20人の会員が参加し、「戦争法」の廃止を訴えました。

国民の知らないところで…

「戦争法」は、今春以来、海上自衛隊による米イージス艦への給油



こだま会の旗を掲げて



国会前で「戦争法」の廃止を訴える

や、米艦防護をおこなうなど、国民の知らないところで着実に実行されています。

仮に朝鮮半島有事の際は、集団的自衛権が行使され、米軍の戦争に参加させられることも予想されます。

「戦争法」は必ず廃止を

「戦争法」は必ず廃止しなければなりません。今回の集会在安倍政権を打倒する大きな歴史的な一歩になることをみんなが確認しました。

加計・森友隠し、私利党略の解散総選挙は、前回参議院選挙で市民が叫んだ「野党は共闘！」になることを強く望みますが、民進党の弱体化

や小池国政新党など自民党寄りの勢力が多くなっていることが懸念されます。(9月24日記・友井眞言)



平和のつどい

と き●12月2日(土) 14時~16時30分 (受付: 13時30分)

ところ●万国橋会議センター 横浜市中区海岸通4-23 ☎045 (212) 1034

みなとみらい線「馬車道」駅6番出口から徒歩5分。JR・市営地下鉄「関内」駅から徒歩10分

内 容●講演「総選挙を受けて一憲法改悪を許さない幅広い共同の運動を」

講 師●岡田 尚弁護士 (九条かながわの会事務局代表)

資料代●500円

問合先●☎090 (2473) 2681 (佐伯義郎・事務局長)



来年は結成20周年

社会保障・憲法・平和・脱原発・ 震災復興などの目標を掲げ 魅力ある退職者会へ

全国自治体 退職者会連絡会 第20回定期総会



さいたま市内で開かれた第20回総会

埼玉県さいたま市の埼玉建産連研修センターで8月26日午後1時30分から、全国自治体退職者会連絡会第20回定期総会が開かれました。
全国から50人が参加。当会からは、加藤利秋相談役（全国連絡会事務局次長）、一杉雄二、仲戸川実両副代表幹事、中嶋ひとみ事務局次長、鳥居伸太郎幹事、小島八重子事務局長が出席しました。

総会は加藤事務局次長の司会で始まり、仲戸川副代表幹事が議長に選任され、議事を進行。
経過報告では、政府・厚生労働省への要請・交渉の結果などをふまえ、さらなる要求実現にむけたとりくみの強化、『連絡会つうしん』を毎月発行し、全国の活動を伝えていることなどが強調されました。

活動方針では、「戦争法」廃止、憲法9条を守る、年金引き下げ反対、消費税増税反対、後期高齢者医療制度の廃止、介護保険制度改悪反対、ヒバクシャ国際署名の推進、原発ゼロ、震災復興など7項目の目標と組織強化・高齢者の特性を生かしたとりくみの展開、来年に向けた20周年記念誌の発行準備などが提起されました。
* * * * *
討論では、8人が発言。愛知からは、社会保障の切りすてを非難するだけでなく、行動をとの提起。京都からは、70年フェスタで憲法をキーワードに交流したとりくみ。岩手からは、平和行進や反核マラソンを青年と連帯し、と

上部団体等への派遣役員の紹介 (敬称略)

〈全国自治体退職者会連絡会〉
事務局次長：加藤利秋
〈神奈川自治労連退職者会〉
会長：加瀬文隆 事務局次長：友井眞言
幹事：青沼慶祐・仲戸川実・小島八重子
監査：酒井道生
〈神奈川高齢期運動連絡会〉
幹事：鳥居伸太郎

りくんだ経験。東京からは、都議選後の都政の動向。大阪からは、春秋のバス旅行やグルメ・歴史散策、堺市長選挙の勝利に向けた決意。横浜からは年金裁判のとりくみなど、多彩な発言がありました。
当会からは小島が、『こだま会報』、長寿祝い制度、人間ドック、会員拡大、平和のとりくみなどについて発言しました。
* * * * *
議案は、すべて全員一致で承認され、「来年の結成20周年に向けさらなる会員の拡大と一層魅力ある退職者会にするために全力で奮闘する」と総会決議が採択されました。
なお、来年の開催は大阪とのことです。
(小島八重子)

年金、医療・福祉要求の前進めざして

憲法が暮らしに 活きる社会へ

神奈川県自治労連退職者会 第26回定期総会

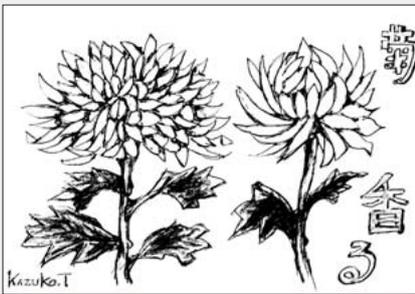
神奈川県自治労連退職者会第26回定期総会が10月11日(水)、横浜市従会館で開かれました。

内田次敏(鎌倉)副会長の司会で開会。植木眞理子(県)会長のあい

絵手紙



奥津弘久さんの作品



田中和子さんの作品



新役員を選出し元気よくスタート

さつに続き、来賓の高橋輝雄神奈川県自治労連委員長のあいさつを受け、事務局長の高須正和さん(横浜)が2016年度の経過と決算を報告。

高齢者が安心して暮らせる社会、平和で豊かな社会をめざして、各単会で学習や集会、署名などをとりくみ、日本高齢者大会に参加したこと、また、鎌倉市職労への「激変緩和措置削除事件」など労使関係

をゆがめる攻撃に対してチラシ配布や労働委員会、裁判傍聴などに参加して支援したこと、平和・憲法問題では、「戦争法」廃止・共謀罪法廃止・「19日行動」や国民平和大行進などに単会に参加してきたことを報告しました。

また恒例の「ふれあい手づくり文化祭」が250人余の参加で好評だったこと、組織拡大では、具体的な動きを起すことができず、年金制度の改善や再任用(雇用)制度の影響で会員拡大につながっていないと強調しました。

決算報告に続いて会計監査報告を酒井道生さん(県)が、報告。

質疑討論では、こだま会から小島八重子さんが、当会の「てくテクの会」での交流と仲間づくりや福利厚生活動、平和と民主主義を守るとりくみなどを報告。横浜市従退職者会からは、栖原秀夫さんが核兵器禁止条約など平和のとりくみを報告し、それぞれ議案を補強しました。

2017年度の活動方針では、憲法が暮らしに活きる社会の実現や年金、医療・福祉制度の改善などの要

求を掲げて奮闘することなどが提案され、拍手で承認。また予算案や、安倍自公政権の暴走に反対する決議を採択。2017年度の新役員を選出し、元気よく運動をスタートさせました。(鳥居伸太郎)

〈新4役員紹介〉

(敬称略)

- 会 長 加瀬 文隆 (県)
- 副会 長 眞次 英一 (横浜)
- 副会 長 内田 次敏 (鎌倉)
- 事務局 長 高須 昌和 (横浜)
- 事務局 次長 友井 眞言 (県)

お悔み申し上げます

5月15日以後、亡くなられた方です。石田彌助さまは2016年10月亡くなられました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。()内は享年。

- 小橋 隆さま (66)
- 今村 節子さま (79)
- 大津 敏雄さま (92)
- 石田 彌助さま (89)
- 添田 良子さま (95)
- 秦 安美さま (82)
- 土屋 松雄さま (80)
- 小越 信子さま (72)
- 片木 和雄さま (83)
- 山口 順久さま (83)



第3句集「天地返し」

こだま句会の 小川水草さん 句集『天地返し』発行

こだま句会の小川水草(本名:政

則)さんが、『畔もぐら』、『水系の絆』に次ぐ第3句集『天地返し』を発刊。「八十路半ばの体験と、また戦争を感じる物騒な情勢から、畑作のような天地返しが社会にも必要ではと考え上梓した」と「あとがき」にあります。347句掲載。問い合わせは ☎042-1742-2253 (小川さん) まで。

◎総会で楽しいひととき

小林 平治

こだま会の総会に久しぶりに出席し、現職時代の仲間にも会え、楽しく過ごしました。「会報」送付時に、いろいろな案内も同封され、役員の方の立案も大変と思いますが、これからも時間のとれる限り参加したいと思

◎視力? 記憶?

中平 正和

「せいかつ短信」欄を久々にゆっくり読むと、懐かしい名前が…。でも、総会等の写真は「誰だっけ」ばかり。視力? 記憶? パソコンが暑さのためか、暴走。あわててスイッチOff。アベ政権は強制終了。



◎「相も変わらず」という言葉

布川 幸子

毎年、同じことができる「相も変わらず」という言葉が好きでした。一年前まで、ガンガン山女でしたが、いまは旅行くらい行けるかな?

◎「せいかつ短信」は貴重な情報源

加藤 房尾

半寿(81歳)になると、「せいかつ短信」欄は貴重な情報で有難いです。小生、同窓生仲間たちと、カラオケ、ターゲットボードゴルフで健康維持を図り、楽しんでいきます。

◎美容と健康にフラダンス

高橋和江

美容と健康のためにフラダンスを習っています。先生が厳しいので大変です。

クロスワードパズルで頭の体操

●ヨコのカギ

- 1 11月頃、シベリヤ地方から飛来する大型の水鳥
- 5 握り寿司に添える○○
- 6 ○○に冠を正さず
- 7 1974年田中角栄内閣総辞職を受けて首相に就任した○○武夫
- 9 自分一人だけの利益を図る○○主義

●タテのカギ

- 11 ○○○豹変す
- 1 このパズルの回答は○
- 2 ○○または電子メールで
- 3 美味しい○○ご飯
- 4 相撲のきまりの一つ
- 8 昆虫のさなぎが成虫となること
- 10 ○○○の下の力持ち
- 11 ○○○の滝登り

◆応募規定◆

- ①ヒント:2重枠に入った文字を、AからEの順に並べてできる言葉は?
- ②宛先:231-8588 横浜市中区日本大通り1県庁本庁舎6階神奈川県職労連退職者こだま会「パズル係」。
- ③郵便葉書に、答、あなたの住所・郵便番号、名前、電話番号を記入し、上記②までお送りください。
- ④賞品: 正解者から抽選で5人の方にクオカード進呈。締切: 12月15日。
- ⑤発表: 次号(2月15日号)。
- *117号の正解は「セミシグレ」。

ヒ	マ	ワ	リ	
カ	グ		レ	イ
	レ	コ	ー	ド
セ		ミ		バ
ト	キ		シ	タ

●当選おめでとう

抽選で次の5人の方に図書カードをお送りしました。(敬称略) 加藤房雄・河川凌・千日加代子・布川幸子・中平正和

答	A	B	C	D	E
1		2		3	4
D	5			6	B
			A	7	
			8		9
				E	10
		C			
					11

係から:回答はがきの余白に、本紙についての感想や要望、身近な話題などひとことを。「会員の広場」欄などに掲載させていただく場合があります。匿名の場合は「匿名希望」とご記入ください。

回答はEメールでもOK kodama@kodamakai.sakura.ne.jp パズル係

てく・テクの会

松代大本営&無言館と信州の鎌倉(別所温泉)バスツアー・レポート



戦没画学生の遺品の絵筆がはめ込まれた碑

「てく・テクの会」主催の「松代大本営&無言館と信州の鎌倉(別所温泉)バスツアー」が9月27日〜28日、行われました。参加者は24人。

画学生遺影となりし自画像の強き眼差し、今を見つめる

誠一郎氏が、1997年5月に開設、その後、第二展示館も併設された。両館合わせて約160点の絵画と10数点の造形が、戦没した若き芸術家たちの生涯と遺族の語るエピソードや思い出と共に展示されている。

「あと5分、あと10分、この絵を描き続けていたい」

*残った絵具を使い果たしてから死にたい。

*「兄さん必ず帰ってきてくれよ、二人で立派な絵描きになるんだ」。共に戦死した兄弟。

*憧れの美校で学んだのはたった数週間。

*最後まで筆を動かしながら「這いずってでも生きて還る」と出征。3

度目の応召で戦死。

*いまでいうマルチ才能の人。図案、ポスター、油絵、詩作、作曲まで何でもやってしまった。

*「妻の裸体を初めて描いた」。これが遺言に。

*卒業制作の「戦争画」は、傷つ



戦争遺跡「松代大本営」を見学

た蝶のように落下する飛行機、傾く戦艦、ピンク色の空と青い海... 「あと5分、あと10分、この絵を描き続けていたい」という思いと、豊かな才能を戦争で断たれた若者たちは、再び戦争への道を歩むかに見えるこの国の現状を、どんな思いで見ているのだろうか。

宿泊は、別所温泉の老舗旅館。安楽寺国宝八角三重塔、北向観音、山宣の碑等を散策。

「松代大本営」の突貫工事に6千余の朝鮮人労働者が...

28日見学の所謂「松代大本営」は、松代町の3つの山を中心に、善光寺平一帯の地下に、皇室と軍・政府機関を分散移転する陸軍主導の地下施設群建設計画である。

1944年11月から終戦まで工事が行われ、一般公開されているのは、像山の地下壕延長5900mのうち約500m。ここには放送局や中央官庁の移転が想定された。終戦時には完成していた舞鶴山の大本営と天皇の御座所は、気象庁松代地震観測所となっている。この突貫工事には6千人余の朝鮮人労働者が使役さ



宿泊は別所温泉

れ、毎日のように死傷者が出たとの証言もあるなかで、名前が確認されている死亡者は、わずか4人という。

昼食は、地元名代の食事処で、栗おこわ膳。真田氏所縁の城址周辺を巡って、帰路へ。

* * * 出征の歓呼の声に背を向けて

描きあげたる妻の姿絵画学生遺影となりし自画像の強き眼差し、今を見つめる

■軍部その狂気の証し 松代の地下壕は かなしく在りて

(一杉雄二)